

## 大雨（土砂）災害に対する防災気象情報

### 1 記録的短時間大雨情報

記録的短時間大雨情報とは、大雨警報が発表されている時に、数年に1回程度発生する激しい短時間の大雨を観測、または解析したことを発表する情報である。

水防（防災）機関は、より厳重な警戒や対応が必要となる。

発表官署	予報区	発表基準
佐賀地方気象台	佐賀県	1時間雨量 110mm

### 2 土砂災害警戒情報

土砂災害警戒情報とは、土砂災害による被害の防止・軽減を図るため、大雨により土砂災害の危険度が高まった時に、県と佐賀地方気象台が共同して発表するもの。

この情報が発表された場合は、土砂災害の危険度が非常に高まっているので、土砂災害危険箇所及びその周辺では、厳重な警戒及び身の安全を確保することが必要となる。

発表対象地域	発表基準
市町単位	60分間積算雨量と土壌雨量指数を組み合わせたものを基準とする場合と、県が監視する土砂災害発生予測情報と気象台が監視する土砂雨量指数履歴順位の両方を組み合わせた基準とする場合がある。

## 指定河川洪水予報

### 1 指定河川洪水予報

あらかじめ指定した河川について、区間を決めて水位または流量を示した洪水の予報を、気象庁と国土交通省又は都道府県が共同で行っているもの。筑後川水系洪水予報は筑後川河川事務所と福岡管区気象台が共同で行っており、嘉瀬川水系洪水予報は武雄河川事務所と佐賀地方気象台が共同で行っている。

なお、これらとは別に、気象庁が単独で行う洪水注意報や洪水警報があり、対象地域にある不特定の河川の増水による災害に対して発表している。河川を特定しないため、水位や流量の予測は行わない。

種類	発表基準
〇〇川氾濫発生情報 (洪水警報)	(警戒レベル5相当) 氾濫の発生
〇〇川氾濫危険情報 (洪水警報)	(警戒レベル4相当) 急激な水位上昇によるまもなく氾濫危険水位を超え、さらに水位の上昇が見込まれる場合、あるいは氾濫危険水位に到達した場合
〇〇川氾濫警戒情報 (洪水警報)	(警戒レベル3相当) 一定時間後に氾濫危険水位に到達が見込まれる場合、あるいは避難判断水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合
〇〇川氾濫注意情報 (洪水注意報)	(警戒レベル2相当) 氾濫注意水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合

※氾濫危険水位：洪水により氾濫の起こるおそれがある水位

※避難判断水位：市長が避難勧告等を発令する判断の目安、住民の避難判断の参考となる水位

※氾濫注意水位：水害に備え各水防機関が出勤し、警戒にあたる水位

### 2 洪水の危険レベルと洪水予報発表例

指定河川洪水予報の種類と発表基準

洪水の危険レベル	洪水予報の標題 [洪水予報の種類]	水位の名称
警戒レベル5相当	氾濫発生情報 [洪水警報]	(氾濫の発生)
警戒レベル4相当	氾濫危険情報 [洪水警報]	氾濫危険水位
警戒レベル3相当	氾濫警戒情報 [洪水警報]	避難判断水位
警戒レベル2相当	氾濫注意情報 [洪水注意報]	氾濫注意水位
警戒レベル1相当	(発表なし)	水防団待機水位

※洪水予報が発表される指定河川については、第6章第3節を参照